

ブーレーズ氏は「音楽の聴き方変えた」 藤倉大氏が悼む

構成＝編集委員・吉田純子 2016年2月5日15時51分

シェア ツイート B! ブックマーク スクラップ メール 印刷
215 list 2

🔍 続きから読む

先月、90歳で亡くなった現代音楽界最大の巨人と目された音楽家、ピエール・ブーレーズさん。親しく接していた作曲家の藤倉大さんが追悼文を寄稿した。

ピエール・ブーレーズさん死去 仏の作曲家・指揮者 →



ここ数年、ご病気だと聞いていたので、いつかこの日が来るかとは思っていたけれど、実際に訃報（ふほう）を聞き、それを伝えるニュースの数を見て、改めてその存在の大きさを思う。僕の住んでいるイギリスのBBCは、音楽業界の有名人を集め、即座に追悼番組を作った。亡くなったことがここまで大きく扱われた現代音楽の作曲家は、これまでにいなかったと思う。

当然のことだろう。音楽の歴史上、ブーレーズほどいくつもの音楽の分野に、世界レベルで携わった人はいないのではないかと僕は思っている。ブーレーズの業績はたくさん記事にも本にもなっているので、興味がある人はそこで詳細を読んでもらうとして、ざっと挙げてみるとこんな風だ。作曲。指揮。教育者。現代音楽のみを演奏するためのアンサンブル創設。音響・科学技術を研究する施設（IRCAM）の創設。

自分の音楽を演奏するためにアンサンブルを作ったり、音響スタジオを作ったりした人はいたかもしれないが、他人のため、もっと言えば世界中の新しい音、次代の音楽のための組織を作り、それらが40年も運営を続けている。そんなことを実現できた作曲家など、歴史をどう見渡してもいないと思う。

そこで開発されたソフトや音響の技術が、ここ最近になって、特別なジャンルである現代音楽だけでなく、みんなが普通に耳にするポップスでも普通に使われるようになってきている。本当の意味で、音楽の歴史をプッシュしたのだ。それも政治家ではなく、1人の作曲家が、である。これからの音楽の聴き方、作り方を変えてしまうほど、重要な作品を膨大に残した人。ブーレーズほど、生きていた間にたくさんの文献が書かれた作曲家もいないだろう。

まず、教育者としてのブーレーズについて、個人的な話をしたいと思う。僕が最初にブーレーズに会ったのは2003年、スイスのルツェルンだ。ルツェ

きょうも傍聴席にいます。通信教育大手の個人情報を売った金で「投資」していたものとは？



紙面にプラス デジタル限定

第6回「忘れられない看護エピソード」募集中

看護職や一般の方々から、看護の場面で出会った「忘れられない看護エピソード」を募集します。

1作品を映像化 *最優秀・内閣後援賞の受賞作から選出

【最優秀賞】賞金20万円(各部門1作品)

【締め切り】2016年2月19日(金)

特別審査員 内館牧子さん (脚本家) / ゲスト審査員 剛力彩芽さん (女優)

公益社団法人日本看護協会

PR 注目情報

- 年収2000万円以上多数**
普段あまりみかけない
ハイクラス求人特集
- 4880万円で家が売れた**
【私は…】35年ローンで買った家をコレで売りました【コレって】

週替わりで求人情報をお届けします！
朝日新聞とマイナビ転職の厳選情報一覧

砂糖不使用だからダイエットにも最適！
国産米100%使用の「飲む〇〇」

【画像有り】我が子のおバかわ写真館！
子育ての日常の、クスッと笑える1コマ

テリー伊藤が日本で一番好きな温泉宿？
全国のホット温まる温泉情報が満載！

クラシック歌手の秋川雅史さん
忘れられない「うどん」の味とは？

朝日新聞文化・芸能取材班

ルン音楽祭では、若手育成のアカデミーをブルーゼの監督の下で開催していた。世界中から才能のある演奏家を集めてオーケストラを作り、数週間にわたって現代音楽のリハーサル、演奏をブルーゼの指揮でやる。

現代音楽だけを演奏するフルオーケストラのサマーコースは今までになかった。そのアカデミーでは、28歳以下の若い作曲家を世界中から2人選び、2年後に世界初演するための作品を書かせる。その世界初演の1年前には「試し弾き」のセッションがあり、その試し弾きも世界初演も全てブルーゼが指揮をする、という豪華なものだった。

最初に僕がブルーゼに会ったのは、その作曲家を選ぶオーディションの最終選考のとき。ファイナリストは3人に絞られていた。そこから2人、ブルーゼが実際に会って直々に選ぶ、というやり方だった。僕は1回でも会えたら、孫にでもブルーゼに会ったことがあると自慢できるからそれでいいや、というくらいの気持ちで臨んだ。

おそらく音楽、作曲を音楽大学で勉強している人なら分かると思うけど、ブルーゼは、生きていた頃からすでに教科書に出てくるくらいの偉人（僕の音大でも、一つの学期はブルーゼに関する授業だった。バッハや ベートーヴェンにもそんなに時間を割かないのに）だったし、ロックスターのような存在だった。なので、僕はあまりの緊張から、約束の時間の30分も前に着いてしまった。

建物の中に通された。ある部屋の、少し開いたドアの向こうに、ブルーゼの後ろ姿が見えた。僕のオーケストラの楽譜を、鋭いまなざしで読んでいた。近づこうとした僕の足音をききつけたブルーゼは、指揮者がオーケストラをぴたっと停止させる時の空手チョップみたいなしぐさをし、手のひらをサッとこちらに向け、「まだ待って！」と手のみで指示。僕はその瞬間、心臓まで止まってしまうかと思った。

ようやく時間が来て、部屋に入れてもらった。部屋には僕とブルーゼの2人だけ。面接が始まった。後で聞いたところによると、音楽祭の人たちもそのオーディションの部屋に入れると思っていたらしいのだが、ブルーゼの希望で1対1に、となったらしい。どうりで面接が終わって部屋を出てみたら、みんながドアのそばに近距離で立っていたはずだ。おそらく、耳をドアに付けて聞き耳を立てていたのだろう。

ブルーゼのインタビューを読むと、インタビューをする人が、質問の最後まで言えているものが少ないことに気づく。それは、信じられないほど頭の回転が速く（それは86歳、最後に僕がお会いした時までそうだった）、質問や文章の冒頭の時点で即座に答えてしまうから。しかも、すごい早口で。

僕とブルーゼの、さきほどの密室での出会いも、同じような感じだった。当時僕は26歳。すでに二つ、オーケストラの作品を書いていた。一つは20歳で書いたもの。もう一つは25歳で書いたもの。25歳で書いた方の楽譜を見ながら、ブルーゼは僕にこう尋ねた。

「この作品の演奏を君は聴いたと思うが、自己批判は？」

「たくさんありすぎて、何から挙げてよいか分かりませんが、例えばここ、ここ、あそこ……」

大量にある自分の曲の欠点を、僕は片っ端から勢い良く挙げまくった。10くらい挙げた時点でブルーゼは僕の腕をつかみ、笑いながら「いやいや、こ

ツイート フォローする

 朝日新聞文化・芸能取材班 8時間
@asahi_bunka
「古代歴史文化賞」記念シンポに780人 東京
t.asahi.com/j0ym
概要を見る

 朝日新聞文化・芸能取材班 2月5日
@asahi_bunka
京都・南座が当面休館 松竹、耐震工事を検討
t.asahi.com/j0vf
概要を見る

 朝日新聞文化・芸能取材班 2月5日
@asahi_bunka
タレントのベッキーさん休業 所属事務所が発表
t.asahi.com/j0t6
概要を見る

@asahi_bunkaさん宛にツイートする

朝日新聞将棋取材班

ツイート フォローする

 YAMAGUCHI,Susumu 山口進 2月5日
@yamaguchis21
将棋世界3月号は山崎隆之八段の特集「叡王への軌跡」。第1期叡王戦を総括する自戦解説です。グラフィアの見出しは「王子から”叡王”へ」。山崎八段は、今月13日の朝日杯将棋オープン戦決勝・準決勝公開対局では解説を務められます→
asahi.com/articles/DA3S1...
朝日新聞将棋取材班がリツイート
概要を見る

 朝日新聞将棋取材班 2月5日
@asahi_shogi
村) 王将戦第3局は挑戦者の羽生善治名人が郷田真隆王将に勝って、2勝1敗としました。7期ぶりの王将獲得、14年ぶりの「五冠」に一歩近づきました。
開く

 朝日新聞将棋取材班 2月5日
@asahi_shogi
村) 2位の糸谷哲郎八段の倍以上ですね。羽生名人、21回目の「賞金王」 昨年1億1900万円：朝日新聞デジタル asahi.com/articles/ASJ25...
概要を見る

 YAMAGUCHI,Susumu 山口進 2月4日
@yamaguchis21
朝日杯将棋オープン戦準決勝・決勝公開対局、13日(土)に迫ってきました。第1期叡王の山崎隆之八段が解説。山崎八段が近く電王戦で対決するソフト「ポナンザ」による形勢判断パーも、随時表示され

@asahi_shogiさん宛にツイートする

※Twitterのサービスが混み合っている時など、ツイートが表示されない場合もあります。

アクセスランキング もっと見る

読まれています 昨日のトップ5

- 零下の旭川、必死の「安心して下さい」 大使に安村さん
- 台湾地震、死者14人に 高層住宅倒壊「建物中叫び声」
- 「嵐」グッズ610点万引き容疑、中3少女逮捕 兵庫
- 「まじめな子」養子の19歳孫、

の作品はそこまで悪くないよ!」。その時の力強い手の感触は、いまだに忘れられない。

「君が20歳の時に書いたオーケストラの作品は、まるでアマチュアの作品だ、でも、25歳の時の作品はプロフェッショナルだ。5年でここまで上達するなら、このルツェルン音楽祭で本番のある2年後に賭けてみたい」。そんな理由で僕は選ばれた。初演のあと、ルツェルン音楽祭のスタッフから、ブーレーズが「自分の選択は正しかった」と言っていたと聞いた。この時から、年に数回ブーレーズにお会いするようになった。虫眼鏡で見ないと読めないような、小さな小さな字で書かれた手書きのお手紙をいただいたり、僕の作品を演奏していただいたり。

これもまた、ルツェルン音楽祭でのこと。当時、僕は若かったこともあり、オーケストラを四つのグループに割り、二つをバルコニーに入れて、などと野心的なプランを構想していた。そのプランを見たブーレーズは、即座に「そういうことをするには、ホールの消防法をいちいち確認しないといけないから、四つを舞台上で分けて演奏したほうがいい。そのほうが再演の確率が高くなるし、客席からも同じように分かれて聞こえるはずだから」と。

まさにその通りで、この作品はその年、一気に五つだか六つだかのオーケストラでの再演が急ぎょ決まった。その現場に行くたびに、ブーレーズの言葉を思い出したものだ。

あと、そのゲネプロの時。オーケストラがクライマックスで大音量を出す所で、どうしてもピッコロが聞こえない、という問題が起こった。指揮をしているブーレーズにそのことを伝えると、ブーレーズはすぐオーケストラに「ではトロンボーン2、打楽器3だけ音量を落として!」。全体の音量を落とすのではなく、80人の奏者のうち2人だけに、音量を下げる指示を出したのだ。僕が「いや、そういう意味ではなくて……」と言いかけたら、「トラスト・ミー(私を信じて!)」とブーレーズ。

振り返ったらもう指揮を始めていた。すると、今までの霧がさーっと晴れたかのように、すべての音が聞こえるようになった。

ブーレーズの指揮は正確だとよく言われるが、それ以上に、ある意味すごい音響のミキサーだと思った。ピンポイントでさっと指示を出し、すべての音がバランス良く聞こえるようにする。その魔法を、この日に見たような気がした。

指揮者としてのブーレーズのことも話そう。世界最高峰のベルリン・フィルやウィーン・フィルなどを振る指揮者となると、大きなホールを客で埋め尽くせる人気指揮者である必要がある。そういった指揮者というのはだいたいの場合、大振り、汗をかき、七転八倒する。そしてまた、そうした身ぶりも多く、客から好まれたりする。出てくる演奏や音楽がいくらグチャグチャでも、そういう「汗かき指揮者」を見ると「すごい演奏を聴いた」という感じになるのだろう。

ブーレーズは、それとは正反対。身ぶりは完全に制御され、表情も変わらず、作品の最初から最後まで、すうっと楽譜通りに進んでいく。なんでもなしぐさに見えるが、出てくる音は温かい。いや、むしろ熱いと言っていい。時には僕ですら「ちょっと速すぎじゃないかな?」と思うようなテンポで、オーケストラをグイグイ疾走させる。

「3日に殺害」と供述

■ 東日本大震災の被災地「恩返し」台湾地震の支援広がる

ソーシャルランキング → もっと見る

フェイスブック はてなブックマーク

1 台湾地震、14人死亡 6656

2 台湾地震の支援広がる 5028

3 発射台にミサイル設置か 4495



注目コンテンツ

ご案内

ショッピング・旅行

手放せなくなるSDカード

データの保存は全自動



ブック・アサヒ・コム

「日本は本来の姿に戻って」

「柔らかな海峡」の金恵京



【&M】

ナンバーが隠れた状態は違法

キャンピングカーで行こう!



【&w】

家に帰って2度怖いホラー

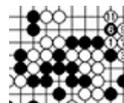
竹内結子×橋本愛が語る『残穢』



WEBRONZA

人工知能、囲碁でもプロ破る

進化が加速、どこまで賢くなる



大学受験

インターネットで出願できる大学入試

渡辺直美さん&JJモデル登場「春の学園祭」

ブラック・スキヤングル/特集で全貌解禁!

あなたが気になるマンションブランドは?

ボンマルシェ:ギエム引退!巻頭インタビュー

【書籍】ビジネス書サマリーが無料で手に入る

映画『エヴェレスト神々の山嶺』特集公開中!

丸岡いずみと医師が語る うつ病治療最前線

マーケティングのノウハウと事例が満載!

その経験、語学力を海外で活かしませんか?

三井ホームが提案する建築家設計相談会

情報社会で新しい価値観を生み出す学びとは

注目校の問題/解答を速報掲載! 中学入試特集

5年後の新大学入試、どう準備する?

動画 →



動物たちにもバレンタインの贈り物



富士山と夕日 話題のスポット



話 春のお

写真 →

フォトギャラリー | 写真地球儀



東京オートサロン 2016



ダンスドリル・ウインターカップ



【フ

PR特集

10年後の
我が子が働く姿、
あなたは想像
できますか？

成毛 眞

元マイクロソフト代表取締役社長
株式会社インスパイア 取締役ファウンダー

激しい変化の時代、子どものために親に何ができるのか
成毛 眞さんにお話をうかがいました。

PR 比べてお得！

- ▶ プロバイダー比較はこちら
- ▶ 引越し見積もりはこちら
- ▶ お買い物はこちら
- ▶ 本の購入はこちら
- ▶ 旅行予約はこちら

でも、ブーレーズにとって一番重要なのは、作曲家が書いた楽譜をそのまま表現するという。多くの指揮者は、自分のエゴを「自分の表現」とでもいうかのように、楽譜に書いてないところでテンポを揺らしたり、一息入れたりする。そういうことをすると、作曲家が構築した世界がどんどん崩れていく。ブーレーズが指揮する場合には、それが全然ない。楽譜に書いてあるものが的確に表現されるので、作曲家の意図が明確に、しかも整理されて聴衆に届く。

僕も、今まで嫌いだった古典の音楽、とくにマーラーなんかは、ブーレーズの演奏や録音を聴いてやっと理解できた。そういう作品は多いし、そういう風を感じる人も多いと思う。マーラーのような人気の作品を振っても、現代音楽やシェーンベルク、ウェーベルンなど、必ずしも人気とは言えない作品を取り上げても、大ホールのチケットを売り尽くす。そんな指揮者はかつていなかった。

指をピッと動かすだけで、金管群にピタッとアクセントを利かせてみせるなんて、とてつもなくすごいことだと思う。2回目に僕の作品を指揮して下さったのはルーブル美術館。指揮者は舞台から客席に向き合い、楽団は客席内に散らばって音を出す（「フィフス・ステーション」）。こうすると、聴衆に指揮者の動作、顔がよく見える。そして、後ろから演奏がきこえてくる。ブーレーズが指でピッとすると、後ろからバシッとあったキレキレの演奏が鳴ってくるのだ。

ブーレーズはいつも、10代の反抗期みたいな雰囲気漂わせていた。ブーレーズが亡くなったと聞き、最初に思ったのは、「ああ、もうあのユーモアのあるお話が聞けなくなるのか」ということだった。音楽のことだけではなく、いろいろな話をした。「そんなこと言っちゃっていいの？」というようなきわどい冗談もよく投げかけてきた。

あと、やはり特筆すべきはブーレーズの記憶力だ。ある時どこかで、「ダイ、次はどんなコンサートがあるの？」と聞かれ、来月あたり日本でこういう世界初演があつて、などという世間話をした。その4カ月後、ブーレーズがイギリスのオーケストラを振るというので、僕は聴きに行った。ブーレーズの公演の後には、いつもすごい行列。そこに交じるのが嫌な僕は、ブーレーズが演奏を終え、手を振り下ろし、拍手が始まった瞬間、舞台裏に向かってダッシュした。

舞台裏に着いたころ、ブーレーズはちょうど拍手を受け、舞台から戻ってくるところだった。僕を見てさっと近づいてきて、「日本での公演はどうだった？ うまく行ったか？」とブーレーズは言った。カーテンコールに誘いだそうとするスタッフを追い払うような手つきをして「歌手だけ行けばいい」。歌手たちが舞台でお辞儀をしているあいだ、僕とブーレーズは、その4カ月間にあった話をいろいろした。話しこんでいる僕らに、ステージマネージャーが何が何でももう1回舞台へ、と懇願するような視線を送ってきた。ブーレーズは舞台へ、僕は「じゃあね」と言って外へ。ドアを開けたら、もう舞台裏に入ろうとする人たちの大行列ができていた。

演奏が終わり、手を下ろす。この瞬間が、ブーレーズにとってはすべての終わりだった。その後の拍手喝采には一切興味がなかった。満場のスタンディングオベーションにもかかわらず、2回目のお辞儀が終わるやいなや、オケを舞台から引っ込めたことも。音、音楽しか興味がない。「次、何をするか」ということばかり考えていた。

同時にブルーズは、複雑な頭脳の持ち主であることに違いはないけど、ある意味とてもシンプルで、ロジカルで、エゴの全くない人だった。僕自身、ご機嫌を取らねばならない、などと感じたことは一切ない。リハーサルでも、僕は思うことを気兼ねなく言えた（「ここでページめくらないでくれますか？」などという失敬な注文も含めて！）。オケの音程を直す時も、ニヤッと笑って「I like correcting mistakes！（間違い探しは楽しいね！）」などと言ってみたり。僕のオーケストラ作品のリハーサルで、オーケストラに向かって「I am sorry I ask many things, but I am not sorry（たくさん要求してすまない。でも、悪いとは思っていない）」と言ってリハーサルを始めたのも忘れられない。

知り合いの話では、パリでの公演のあとも普通に地下鉄で帰り、ルツェルンでもバスで普通に会場までリハーサルに通っていたようだ。楽屋にも行ったことがあるが、びっくりするくらい何もない部屋だった。巨匠や大スターなどと言われる音楽家の、舞台裏でのワガママなどをうわさで聞くが、ブルーズの謙虚な態度を見習ってほしいと思う。

これほどまでに偉大で、世界的にも歴史的にも今後の未来にも影響を与えた人物が亡くなったということ。しかもそれが、個人的にも親しくお世話になった人だという現実を、どう受け止めればいいのか。僕にはまだ、気持ちの整理ができていない。ブルーズの作品。彼が音楽史に与えた影響。すべてを受けとりつつ、未来に向けて音楽を作りつづけるしかない。僕たち作曲家の頭、心、耳の中に、ブルーズはこれからもずっと存在し続ける。（構成＝編集委員・吉田純子）

PR情報

- ありがとうの手紙が届いた！輸血を受けた少女がもらったモノへ政府IV
- THE NEW MINICLUBMAN スペシャルサイト公開中。

トップ	社会	政治	経済・マネー	国際	テック&サイエンス	スポーツ	カルチャー
-----	----	----	--------	----	-----------	------	-------

トップニュース →

- ▶ 北朝鮮、発射台にミサイル設置か 米韓は厳戒態勢 (03:05)
- ▶ 「揺れ始めて一気に倒壊」 台湾地震、マンション欠陥か (00:10)
- ▶ 19歳孫「遊ぶ金が欲しかった」 兵庫・赤穂の夫婦殺害 (03:16)
- ▶ 二条城の壁にへこみ ゴルフボールの跡？ 被害届を検討 (01:24)
- ▶ 16歳中村さんが6位入賞 ローザンヌ国際バレエ (04:01)



もっと見る

[朝日新聞デジタルのトップページ](#)

お気に入り連載 →

設定

- (各駅停話) 新花巻駅 雨ニモマケズの心象世界 (02/06) [各駅停話]
- (@ニューヨーク) めざせ第2のシリコンバレー 米で起業都市が続々 (02/06) [特派員レポート]
- (おやじのせなか) 秋山竜次さん 破天荒「勉強しなくていい」 (02/06) [おやじのせなか]